

令和5年度 事業計画

特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワークは、不登校、中退、引きこもり等に悩む子どもたちや若者及び保護者に対して、それらに係る相談業務に関する事業を行い、生活及び学習に係る問題の改善や解決を図り、自立心と主体性の確立及び向上、また心身の健康の増進に寄与することを目的として、下記の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、フリースクール(適応教室)による青少年支援活動事業、スタッフのカウンセリング技法その他の研修に係る事業、青少年の健全育成に関する事業を実施するものとする。

ウイズコロナからアフターコロナへの新しいステージに配慮した事業計画に心がける一方、施設管理団体のアイプラザ半田の基本方針及び愛知県教育委員会のガイドラインに準拠して、引き続き感染防止に留意しつつ、事業展開を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 青少年支援活動事業

ア フリースクール支援事業

(ア) 事業内容

- ①学習指導、生活指導及び進路相談
- ②スポーツ…室内運動(卓球、バドミントン、バスケットボール等)
- ③各種リクリエーション
- ④ランチ会
- ⑤手芸
- ⑥アニマルセラピー
- ⑦令和5年度卒業・修了を祝う会

a. 開催日時:令和6年3月23日(土)AM10:00~PM12:00

b. 会場:アイプラザ半田2階研修室

c. 内容:第一部 祝う会(卒業生、修了生)

第二部 懇談会

(イ) 実施予定曜日・時間帯

毎週 火 水 木 金曜日 9:30~15:00

(ウ) 実施予定場所

- ①「アイプラザ半田」109、110号室
- ②「アイプラザ半田」軽運動室、市体育館
- ③「アイプラザ半田」109、110号室、中庭
- ④「アイプラザ半田」105号室
- ⑤「アイプラザ半田」110号室
- ⑥「アイプラザ半田」中庭
- ⑦「アイプラザ半田」研修室

(エ) 従事者の予定人数

スタッフ18名

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

小・中・卒業生・高校生等計12名程度

(カ) 費用見込額 414,650円

内訳:(印刷製本費150円、旅費交通費351,000円、教材費2,800円、
消耗品費60,700円)

(キ) 収益見込額 0円

イ 小学生の学習(ハートルーム)・生活支援事業(寺子屋事業)

(ア) 事業内容

- ・ハートルームは毎月第3土曜日10:00~15:00に小学生を中心に学習・遊びを通じた活動をする。
- ・寺子屋事業は、長期休業中に半田市子ども育成課の助成金を基に活動を展開する。その内容は、自主学習とレクリエーション、手芸、新聞作り、ゲーム、読み聞かせなどを、学生ボランティアの協力を仰ぎながら行う。

(イ) 寺子屋事業実施予定日時

- ①夏季・寺子屋事業・・・7月下旬<予定>
- ②冬季・寺子屋事業・・・12月下旬<予定>
- ③春季・寺子屋事業)・・・3月下旬<予定>

(ウ) 実施予定場所

「アイプラザ半田」109、110号室、軽運動室

(エ) 従事者の予定人数

3~4名

(オ) 費用見込額 74,460円

内訳:(旅費交通費37,000円、通信運搬費800円、教材費9,600円、消耗品費22,100円
賃借料2,460円、雑費2,500円、)

(カ) 収益見込額 0円

ウ 0G・0Bの活動支援事業内容

- ・卒業生や高校生などによる交流と情報交換

(ア) 実施予定日時

毎月第4週土曜日 12時00分~15時00分

(イ) 実施予定場所

「アイプラザ半田」110号室

(ウ) 従事者の予定人数

2名

(エ) 受益対象者の範囲及び予定人数

高校生、卒業生等 4名

(オ) 費用見込額 2,000円

内訳:(消耗品費 2,000円)

(カ) 収益見込額 0円

エ 第2部学習支援事業

(ア) 事業内容

- a. 中学生や高校生、卒業生への居場所提供
- b. 学習指導
- c. 進路及び生活相談

(イ) 実施予定日時

毎週木曜日 14:30~17:00

(ウ) 実施予定場所「アイプラザ半田」110号室

(エ) 従事者の予定人数 2~4名

(オ) 受益対象者の範囲及び予定人数

中学生、卒業生、高校生、3~4名

(カ) 費用見込額 32,000円

内訳:(旅費交通費30,000円、消耗品費2,000円)

(キ) 収益見込額 0円

② スタッフのカウンセリング技法その他の研修に係る事業

ア カウンセリング研究会

(ア) 事業内容

日頃の相談業務の内容や方法について、臨床心理士による助言等を参考に、スタッフのカウンセリングマインド及びカウンセリング技法の一層の充実・向上を図ることを目的とする。また、スタッフ及び保護者のカウンセリング研修の企画にも生かして行く。カウンセリング関連の研修のための講座及び専門書等の紹介についても今後とも専門家の協力を求めて行く。

(イ) 実施予定日時

毎月第3月曜日 17時30分～19時30分

(ウ) 実施予定場所

アイプラザ半田 109号室等

(エ) 従事者の予定人数

3名

(オ) 費用見込額 36,000円

内訳：(会議費 3,000円 旅費交通費 33,000円)

(カ) 収益見込額 0円

イ スタッフのためのカウンセリング研修

(ア) 事業内容

フリースクールの子どもたちへの対応や相談業務の在り方を学習し、スタッフの相談業務に役立たせる。臨床心理士による指導助言の下に、研修を進め、カウンセリングマインド及び技法の向上を目指す。

① スタッフ研修

- ・ 日程や内容は改めて決定する。
- ・ 実施予定会場 アイプラザ半田
- ・ 従事者の予定人数 13名

② 不登校に関わる全国研究大会への参加事業

- ・ 事業内容：「第25回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 京都」への参加
主 催：登校拒否・不登校問題全国連絡会
- ・ 日 時：2023年10月7日(土)～8日(日)
- ・ 会 場：生涯学習施設・道の駅「ガレリアかめおか」 京都市亀岡市余部町

(イ) 費用見込額 46,100円

内訳：(諸謝金 5,000円 会議費 3,000円 旅費交通費 30,000円 教材費 850円
賃借料 1,250円 研修費 6,000円)

③ 青少年の健全育成に関する事業

ア 令和5年度ののばす会・文化祭(のばす会30周年記念事業)

(ア) 日 時 令和6年1月27日(土)10:00～16:30<<13:00 ～ 14:30(公開時間帯)>>

(イ) 実施会場 アイプラザ半田 2F 小ホール

(ウ) 実施内容

① 午前の部(10:35～11:25)

- ・ リハーサル 子供たちの活動など
- ・ 昼 食 (12:00～12:50)

② 午後の部(13:00～15:30)

- ・ オープニング
- ・ 30周年記念講演・・・・(13:15～14:30)
- ・ 講師 伊藤八千穂(のばす会前代表理事)
※事情により生活体験発表に変更有り

(エ) 従事者の予定人数

スタッフ 12 名、親の会 8 名 OB・OG 2 名 計 22 名

(オ) 受益対象者の範囲

- ① 不登校の子どもをもつ保護者・学校教育関係者・教育行政関係者
- ② 関心のある一般市民

(カ) 費用見込 24,100 円

内訳：(旅費交通費 4,000 賃借料 18,100 円 雑費 2,000 円)

(キ) 収益見込額 0 円

3 のばす会 30 周年記念事業

(1) 「のばす会・ネットワーク便り」第 32 号 (のばす会 30 周年記念特集号) の発行

(2) 30 周年記念講演

- ・日時：令和 6 年 1 月 27 日 (土) (文化祭行事として開催)
- ・講師：伊藤八千穂 (のばす会前代表理事)

4 古川一也公認会計士事務所によるコンサルティング

- ・一連の会計処理について相談し助言をもらいながら適正に処理する。

5 大学との連携事業(サービ斯拉ーニング)協力について

(1) 事業内容

- ・日本福祉大学の学生が当フリースクールの活動に生徒と共に参加し、生活や活動をへて、市民性の涵養及び将来の業務の参考に資するための活動を展開する。

(協力機関：NPO 法人「地域福祉サポートちた」)

(2) 実施予定日時

8 月下旬～9 月上旬の 5 日間

(3) 収益見込額 20,000 円

6 企業の社会貢献活動事業(「デンソーグループハートフルまつり」)協力について

主催者による開催についての公表がなく、現在未定である。

7 助成金及び寄付金について

(1) 助成金

- ア 年 3 回(春・夏・冬平均 3 日間)の生活支援(寺子屋事業)
- イ 充実した活動に心掛け会計及び活動報告を丁寧かつ継続的に行う。

(2) 寄付金

- ア 東海労働金庫の寄付金口座システムの活用
- イ 陰ながら支援して頂いている方々へホームページの更新や年 3 回ニュースレターの発送を通し活動の様子や会計をお知らせするとともに継続的な寄付をお願いする。
- ウ スタッフ・親の会のメンバーの協力関係の強化のもと、本会活動に関心を持つ方々との交流及び広報活動を通し本会活動の理解の上に寄付をお願いする。

(3) 書き損じはがきと未使用の切手の回収事業

回収事業を行い、のばす会に在籍した人たちや相談に来られた方にニュースレターや講座などの案内を郵送する通信費に充てる。

8 広報活動について

(1) 方法

- ア 本団体ホームページの更新
 - イ ニュースレターの年 3 回の発行
 - (ア) 「のばす会・ネットワーク便り」第 30 号：4 月発行済み
 - (イ) 「のばす会・ネットワーク便り」第 31 号：8 月発行予定
 - (ウ) 「のばす会・ネットワーク便り」第 32 号 (のばす会 30 周年記念特集号)：12 月発行予定
- 以上について、できるだけ多くの関係者(保護者、親の会、過去在籍者、相談者、学校関係、教育委員会、市役所の関係部署、サービ斯拉ーニング関連大学等)に郵送する。

- ウ 日本財団が運営する CANPAN に団体情報を掲載し、全国に情報を開示する。
 - エ タウン情報誌などの取材に協力し広報効果の向上に努力する。
- (2) 文化祭などの公開行事については、報道機関の取材に協力し広報効果の向上に努力する。

以 上